

# 議会だより



## 第62回全日本実業団対抗駅伝競走大会

1957年からスタートした実業団駅伝日本一を決定する歴史ある大会で、ニューイヤ-駅伝とも呼ばれています。

群馬県庁をスタート/フィニッシュとする7区間100kmで、37チームが元旦に熱い闘いを繰り広げます。  
みどり市内国道50号を疾走しました。

## 平成29年 第4回定例会（12月）

〈主な内容〉

|                       |       |
|-----------------------|-------|
| 本会議 .....             | 2~3   |
| 常任委員会・議会運営委員会報告 ..... | 4~8   |
| 特別委員会報告 .....         | 8~9   |
| 一般質問 .....            | 10~21 |
| まちの声 .....            | 22    |

# 議員定数を18に決定



平成29年第4回定例会は、11月28日から12月14日まで17日間の日程で開催されました。

市長からは人権擁護委員候補者の推薦をはじめ、条例制定、条例改正、平成29年度一般会計補正予算など18議案が上程され、慎重審議の結果、原案のとおり可決されました。

議員提出議案により議員定数が20から18に改正されました。また、一般質問には18人が登壇し、市政についていただきました。

## 市長提出議案

- ◆ 専決した事件（平成29年度一般会計補正予算（第4号）の承認
- ◆ 報酬費用弁償支給条例の一部改正
- ◆ 学童保育所条例の一部改正
- ◆ 多世代交流館条例
- ◆ 指定管理者の指定（みどり市第2親老児童館）
- ◆ 市道の道路認定
- ◆ 市道の路線変更

## 人事案件

- ◆ 人権擁護委員候補者の推薦  
松原 まさ江氏

## 補正予算

- ◆ 平成29年度一般会計補正予算（第5号）
- ◆ 同 太陽光発電事業特別会計補正予算（第2号）
- ◆ 同 鉄道経営対策事業特別会計補正予算（第1号）
- ◆ 同 国民健康保険（事業勘定）特別会計補正予算（第3号）
- ◆ 同 国民健康保険（診療所勘定）特別会計補正予算（第3号）
- ◆ 同 後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）
- ◆ 同 介護保険（保健事業勘定）特別会計補正予算（第3号）
- ◆ 同 簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）
- ◆ 同 下水道事業特別会計補正予算（第3号）

## 平成29年度 各会計補正予算一覧表 (12月補正)

| 会計区分 |               | 補正額       | 補正後の額         |
|------|---------------|-----------|---------------|
| 一    | 一般会計          | 7,264万1千円 | 198億5,034万2千円 |
| 特別会計 | 太陽光発電事業       | 0         | 7,457万8千円     |
|      | 鉄道経営対策事業      | 4,459万3千円 | 8,618万6千円     |
|      | 国民健康保険(事業勘定)  | 0         | 67億1,309万8千円  |
|      | 国民健康保険(診療所勘定) | ▲3万0千円    | 1億7,831万2千円   |
|      | 後期高齢者医療       | 0         | 4億9,317万3千円   |
|      | 介護保険(保険事業勘定)  | 35万0千円    | 44億6,906万6千円  |
|      | 簡易水道事業        | 48万1千円    | 1億1,354万0千円   |
|      | 下水道事業         | 459万0千円   | 13億1,872万9千円  |
|      | 富弘美術館事業       | ▲125万0千円  | 1億5,795万0千円   |

※補正額「0」は歳入予算の組替えを表します。  
 ※「▲」は減額を表します。

### 傍聴をお待ちしています

議会では、市のさまざまな計画や市民の生活に直面したことなどが議論されています。本会議は、どなたでもご覧いただけますので、ぜひ傍聴にお越しください。

問い合わせ先

みどり市議会事務局 ☎76-1970



### 本会議の中継

みどり市議会を広く市民に公開し、より開かれた議事を推進するため、インターネットによる中継・録画放映を実施していますので、ぜひご覧ください。

ホームページアドレス

<http://www.city.midori.gunma.jp/gikai>

- ◆ 同 富弘美術館事業特別  
会計補正予算(第3号)  
↓ 可決
- ◆ 市議会議員定数条例の一  
部改正  
↓ 可決
- ◆ 海老根篤議員に対する懲  
罰動議 (12月6日)  
↓ 可決
- ◆ 海老根篤議員に対する懲  
罰動議 (12月14日)  
↓ 継続審査

## 総務文教 常任委員会

本委員会は執行部出席のもと12月11日に開催した。

### 付託された議案

#### ●報酬費用弁償支給条例の一部改正

農業振興と適正な農地管理の維持について、農林水産省から群馬県を通じて取り組み強化の要請があったことから、農業委員会委員などの新たな業務負担が増加する状況を踏まえて、農地利用適正化推進業務への活動実績および農地利用集積などの成果実績に応じた報酬を現行の報酬に加えて限度内で支給するため、規定の整備を行うもの。財源は、農地利用最適化交付金を活用するもの。

質疑討論もなく、採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定。

#### ●多世代交流館条例

旧福岡西小学校を利活用した、多世代交流館の設置に伴い、施設の名称および

位置や利用許可、施設内での禁止される行為および使用料などの当該施設の設置および管理について、必要な事項を定めるもの。

質疑討論もなく、採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定。



### 付託された請願

#### ●地方財政の充実、強化を求める請願

本請願は、平成29年9月議会からの継続審査。委員から再度の意見を聴

取し確認した。国の経済対策の動向が流動的であるため、継続審査にすべきとの意見や請願の趣旨には賛成なので、趣旨採択でいいのではないかなどの意見あり。採決の結果、挙手多数により継続審査と決定。

### 所管事務調査報告

平成29年10月3日から5日まで実施した。

#### ●視察地 兵庫県洲本市

●調査内容 再生可能エネルギーについて

恵まれた自然環境を活かし、再生可能エネルギー事業を積極的に推進し、竹チップを主燃料としたバイオボイラーや菜の花などを利用したバイオ燃料製造、洋上風力発電を行っている。また特区を利用し大手ガス会社が参入することで初期投資ゼロで公共施設などに太陽光発電施設を設置している。

特筆すべきものとしては「域学連携」による再生エネルギー事業を行っている点である。

この「域学連携」により、

山間部の限界集落において地域の存続、活性化を目的に農業用水路を利用した小水力発電システムを構築している。

洲本市の再生エネルギー事業は、発電事業のみにとどまるのではなく、市内にある資源を中心にして賄い、循環することで成立する地域貢献型再生エネルギー事業であり、地域の活性化のためのツールの一つとして位置づけている。

#### ●視察地 徳島県東みよし町

#### ●調査内容 コミュニティ・スクールについて

コミュニティ・スクールとは、学校と保護者や地域がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させる取り組みで、地域の豊富な人材を活用することで「地域の子どもは地域で育てる」といった展望を地域と共有し、そのことで地域の活性化も図るものである。

中学校区において幼稚園から中学校を一つの学園としており、コミュニティ・スクール事業を運営・推進



していくコーディネーターを事務職員として配置することで、学園内において子どもたちの情報共有などが図られている。この事業の導入により、教員がゆとりを持つことができたほか、学校に行くのが楽しい、と答えた子どもが増加しているとのことである。

#### ●視察地 香川県坂出市

●調査内容 公共交通（デマンドタクシー）について

公共交通の整備を計画的

※域学連携…大学生および教員が住民などと一緒に地域づくりに関わり、地域の活性化、人材育成を図るもの。

に行うにあたって、路線バスが運行していなかった公共交通空白地域においてデマンド型乗合タクシーの導入を行った。また路線バスが運行しているものの、自宅からバス停までの距離が遠い地域にも同様に導入を行っている。

デマンド型乗合タクシーは毎週月曜日から金曜日の間で運行されている。事前予約制で利用料は300円、小学生未満は無料となっている。市民から要望が



あるものの、ドアツードアシステムについては民業圧迫の観点から導入を行っていない。

一方で、路線バスを廃止したことで公共交通空白地域となつている地域では、既存の路線バスの再編を行うことにより、解消したと

## 市民福祉 常任委員会

本委員会は執行部出席のもと12月7日に開催した。

### 付託された議案

#### ●学童保育所条例の一部改正

改正内容は、土曜日の開所時間において、午前8時から午後6時30分までに拡充する。また、延長時間において、土曜日は、開所時間前の午前7時30分から午前8時まで、および開所時間後の午後6時30分から午

後7時まで、長期休業日は、開所時間前の午前7時30分から午前8時まで、それぞれ30分の延長時間を設定し、拡充するもの。延長保育の現状と今後の見込みについて質疑あり。

平成28年度4月当初の利用率は714人で、年度末にかけて減少し、592人となった。延長保育は月平均で約60人。平成29年度も同様の状況となつている。さらに、開所時間の延長に伴い職員の負担の増減と学童保育所の運営に係る経費について質疑あり。放課後支援員を配置しており、ローテーションによつては長時間勤務となる場合もある。無理のない職員の配置を要望し、人件費は全体で350万円程度の増額が見込まれるとの説明。

討論はなく、採決の結果、挙手全員により本案は原案のとおり可決すべきものと決定。

#### ●指定管理者の指定（第2親老児童館）

平成22年4月から良好に施設の運営および管理を行



つており、引き続きみどり市社会福祉協議会を指定するもの。

討論はなく、採決の結果、挙手全員により本案は原案のとおり可決すべきものと決定。

### 所管事務調査報告

平成29年10月11日から13日まで実施した。

#### ●視察地 山形県上山市

●調査内容 上山型温泉クアオルト事業

クアオルト健康ウォーキングとして、「気候性地形

療法」を活用したウォーキングを取り入れている。上山市役所内での説明後、クアオルトコースの一つである「葉山コース」を体験した。葉山コースでは、展望台「恋人たちの丘」、平安時代に建立された葉山神社、「抱きつ木テラス」という杉の大木など随所に飽きさせない工夫が施されていた。

#### ●視察地 山形県寒河江市

●調査内容 「無事かえる」支援事業、高齢者運転免許証自主返納支援事業、子育て定住住宅建築事業補助金

「無事かえる」支援事業は、認知症の高齢者の方が、徘徊などにより行方不明となつた場合に早期に見つけるよう高齢者の情報を事前に登録し、高齢者本人の安全と家族への支援を図ることを目的としている。申請に基づき登録されると、「見守りグッズ」を配り、日頃の見守りの仕方などについて具体的に高齢者支援課が直接対応し、アドバイスを行う。「見守りグッズ」



とは、高齢者本人が連絡先などを常に携帯できるよう工夫したネームプレート、アイロンプリントネーム、靴用ネームシール、反射シールとなっている。高齢者支援課では、利用者のところにアイロンを持参し、シールの貼り付け作業を行っている。

高齢者運転免許証自主返納支援事業は、平成29年4月1日から開始。有効期限内の全ての運転免許証を自主返納した65歳以上で、申

請時に寒河江市民である方を対象に、タクシー乗車券やバス回数券（2万円分）の交付を実施している。

子育て定住住宅建築事業の子育て世代の支援として、中学生までの子供がいる世帯では、市内在住の場合、新築、購入の場合50万円、県内の市外に1年以上連続して在住している場合は100万円、県外に1年以上連続して在住している場合は200万円を補助している。

## ●調査地 山形県酒田市

### ●調査内容 がん予防の推進、がん患者医療用ウィ

ツグ購入費助成事業、中町にぎわい健康プラザ

平成21年度以降、女性特有のがん検診推進事業、働き盛りのがん検診推進事業（40歳、45歳、50歳、55歳、60歳を対象に胃がん・大腸がん検診の無料クーポン券を）、がん検診受診率向上事業のため検診未受診者への戸別訪問などを実施して検診受診率の向上に取り組み、成果を上げている。さらに、早朝がん検診や休日



### がん検診も実施している。

がん患者医療用ウィツグ購入助成費事業は、平成26年度より実施している。助成金額は、ウィツグ本体購入経費として2万円、または購入経費の2分の1の額のいずれか低い額を助成している。助成の実績は、平成26年度27人、平成27年度50人、平成28年度50人。中町にぎわい健康プラザは、中町モジュールに隣接する旧共栄ビルを改修し、健康増進の場と市民交流の場を設け、市民の健康の増進お

よび交流を図るとともに中心市街地の活性化に寄与することを目的に、平成29年4月に設置された。総工事費約4億4500万円で、財源として、社会資本整備交付金約9293万円、合併特例事業債3億5390万円が活用され、管理運営業務はNPO法人に約2400万円で委託している。今後、高齢化が一層進む中で、健康増進と中心市街地の活性化策については学ぶべきものが多くあった。

## 経済建設 常任委員会

本委員会は執行部出席のもと12月8日に開催した。

### 付託された議案

#### ●市道の路線認定

市道笠懸4398号線は、土地開発によって築造された新設道路の寄附を受けたことにより認定するもの。また、市道笠懸4399号線は、阿左美バイパス整備に伴う機能補償道路として取り扱うため認定する

もの。質疑討論はなく、挙手全員により本案は原案のとおり可決すべきものと決定。



#### ●市道の路線変更

市道笠懸4396号線は、阿左美駅前広場整備に伴う道路区域整備の起終点および区域に変更が生じたため、変更するもの。質疑討論はなく、挙手全員により本案は原案のとおり可決すべきものと決定。

### 所管事務調査報告

平成29年10月18日から10

※ウィツグ…かつらのこと。

月20日まで実施した。

● 視察地 滋賀県彦根市

● 調査内容 夢京橋キャッスルロードについて

彦根市は、滋賀県東北部の中核都市の役割を担い発展してきたが、昭和40年代から中心市街地の空洞化が進み、商店街では店舗やアーケードの老朽化や駐車場、道路の整備の遅れから衰退が顕著となり街並みも荒廃していった。このような中で、都市計画道路事業の地元説明会をきっかけに



行政主導ではなく、地元住民が中心となり、町づくりを進め、衰退していた商店街を江戸町家風の建物に統一し、地域の魅力が感じられる街並みをつくり出すことに成功している。現在も夢京橋キャッスルロードには多くの観光客が訪れており、賑わいのある商店街に再生されている。

● 視察地 京都府綾部市

● 調査内容 都市交流拠点施設運営事業、空き家活用定住促進事業

京都府綾部市は、京都府北部に位置し、古くから養蚕、製糸が盛んで、グンゼ発祥の地として知られている。グンゼ直営の博物館、綾部市民の手で整備・運営されている綾部バラ園、綾部市の特産品、農産物などの販売を行う綾部市都市交流拠点施設（あやべ特産館）の3施設が集まったエリア全体を「あやべグンゼスクエア」と総称し、綾部市を訪れる観光客の最初の受け入れ場所としての機能を果たす施設としている。

あやべ特産館が整備されたことにより、新たな生産販売へのチャレンジ、新商品の開発に取り組む地元事業者も出てきており一定の整備目的は達成している。さらに綾部市では、平成20年度からあやべ定住サポート総合窓口を開設し、定住促進の施策を積極的に進めている。

定住者を誘導するための施策では、空き家を市営住宅として定住希望者に賃貸する定住お試し住宅を運営している。

また、空き家の流動化を促進させ、空き家バンクへの登録数をふやす施策として、空き家の売買や賃貸の契約が成立した場合には、空き家の提供者に謝礼を出すという空き家流動化報償金給付制度や空き家を購入または賃借した人が行う改修工事費用の一部を補助する空き家活用定住促進事業費補助金制度なども設けられている。

あやべ定住サポート総合窓口が開設されてからの定住実績として、平成20年度

から平成28年度の9年間で合計179世帯、435人となっている。

● 視察地 京都府京丹波町

● 調査内容 有害鳥獣対策について

京丹波町における有害鳥獣の捕獲頭数実績では、シカの捕獲頭数が年々増加しており平成28年度は2440頭。イノシシは、ここ数年で毎年400頭から500頭を捕獲している。

有害鳥獣捕獲報償金は、近隣の市町村に合わせっており、シカ1頭2万円、イノシシ1頭1万5000円、サル1頭2万円となっている。

平成29年度からの新規事業として、捕獲した個体を処分する際の埋設地確保に係る経費の一部を補助する有害鳥獣捕獲個体埋設支援金を新設するとともに赤外線センサーにより動物を感じ、超音波の不快感とLEDストロボで追い払う鳥獣撃退器も100台購入している。

住民参加の状況としては、サルによる農作物の被害を防ぐため地域住民と地域おこし協力隊により「サル追い払い隊」を結成し、サルの行動パターンを利用して群れの追い払いを行うとともに、平成29年度からはサルの群れの行動調査を実施し、サルの位置情報をメール配信する「サル・アラート・メール」というシステムを構築し、被害防除に役立てている。

3日間にわたる行政視察は大変有意義なものであった。



## 議会運営委員会

### 所管事務調査報告

平成29年11月6日から7日まで実施した。

● **視察地** 長野県伊那市議会

● **調査内容** 市民と議会との意見交換会について、伊那市議会BCP（災害時業務継続計画）の経過について

議会基本条例作成のため、平成23年8月23日に第1回議会改革フォーラムを開催し、約140名の市民が参加している。その後、議会改革フォーラムのあり方を検討の結果、具体的な事項に絞りを絞り、名称も懇談会とした。平成25年9月26日に開催し、約130名の市民が参加している。その後、常任委員会を中心にテーマを決めて、「市民と議会との意見交換会の取り組み」として開催している。平成27年以降は、約260名が参加している。実施



後直ちに委員会ごとに検討を行い、ホームページや冊子を作成し、検討結果の報告をしている。一般質問には、傍聴人が平均して1日100人から120人くらい訪れるとのこと。

東海沖地震に対して、長野県は諏訪地域から南がその対象となっており、大規模地震に備えて伊那市議会BCPを作成。執行部と議会は別に計画を設けた。議員個人が直接、執行部の災害対策本部へ連絡すると混乱するため、議会の対策本部で統括して、情報収集を

行う。災害発生時対応訓練では、災害時のタブレット利用にも取り組んでいる。

● **視察地** 長野県岡谷市議会

● **調査内容** 災害対策支援連絡会議設置要領について

災害対策支援連絡会議設置要領の作成設置の経過としては、平成18年7月19日の未明、岡谷市内で同時多発的に土石流が発生し、8名の市民が犠牲になり、その際の情報伝達に反省点があった。

有事の行動は、「岡谷市議会災害対応マニュアル」により行い、まずは連絡体制の確立を優先、マニュアル化した。今後も、定期的な訓練を重ね、要領やマニュアルについて改良していくとのこと。現在、Jアラートによる情報提供については対応していないが、一般的な災害については、市民への情報提供は各戸に設置した防災無線により伝達している。平成25年度より議会報告会を開催し、最初は89名の

市民が参加。その後、徐々に参加市民が減少。

第4回報告会は平成29年

11月6日、場所を「テクノプラザ岡谷」へと移したが、参加者は、依頼した手話通訳者を含めて11名であり、残念な結果だった。参加人数激減の原因は、報告会開催の時間、場所、テーマなどである。市民と一体感を持ち、多くの市民が参加するには何が必要なのか、議論した。

## 懲罰特別委員会

平成29年12月4日開催の平成29年みどり市議会第4会定例会一般質問における海老根篤議員の「裁判官に、だまして私を門前払い食わした」「くだらない議会運営委員会を開いたり」「目明き千人盲千人」「警察の太田と桐生消防署が談合してね、私が病院に運ばれている間に、被害者から加害者にしちゃったんですよ、その相手が、〇〇、悪徳弁護士です」「委員長は本会

議にこれを虚偽報告をして」「悪徳弁護士から金、ほんとに腐ってるんですよこの弁護士がね」などの発言は、無礼の言葉を使用してはならないと定めた、地方自治法および議会の品位を重んじなければならぬと定めた、みどり市議会会議規則に抵触するとして、12月6日に発議された海老根篤議員に対する懲罰動議は、懲罰特別委員会で12月6日、11日の2日間に3回の審査が行われた。12月14日の本会議で、委員長報告の後、採決が行われ、「公開の議場における陳謝」が賛成多数により議決されたが、海老根篤議員は、陳謝文の朗読を拒否し、懲罰に服さなかった。

12月14日に発議された懲罰動議は、「公開の議場における陳謝」の懲罰に服さなかったことは、著しく議会の権威を失墜させたとして懲罰を求めたもの。懲罰特別委員会は14日に2回の審査を行ったが、なお審査を要するため、閉会中の継続審査となっている。

議にこれを虚偽報告をして」「悪徳弁護士から金、ほんとに腐ってるんですよこの弁護士がね」などの発言は、無礼の言葉を使用してはならないと定めた、地方自治法および議会の品位を重んじなければならぬと定めた、みどり市議会会議規則に抵触するとして、12月6日に発議された海老根篤議員に対する懲罰動議は、懲罰特別委員会で12月6日、11日の2日間に3回の審査が行われた。12月14日の本会議で、委員長報告の後、採決が行われ、「公開の議場における陳謝」が賛成多数により議決されたが、海老根篤議員は、陳謝文の朗読を拒否し、懲罰に服さなかった。

# 議会改革調査 特別委員会

## 公聴会

平成29年11月19日開催の議会改革調査特別委員会で、議員定数を18とすることについて公聴会を開催した。みどり市議会では初めての公聴会開催となったが、公述人として応募があった市民2人と、学識経験者として大学教授と元県議会議長の2人からさまざまな意見があった。

### ●公述人の主な意見

- 一般公述人（定数18とする）  
ことに賛成の立場から）
- 市議会議員への立候補者が少ないことが問題。
- 議員報酬が少ない。
- 夜間休日議会の開催。
- 市民が議会に関心を持てるような改革を。
- 定数削減により、市民が議会に関心を持つきつかけになるのではないか。
- 多様な業界の職歴を持つた市議が立候補できるよ



うな議会改革を。  
学識経験者

- 人口動態からは議員定数を減らすべき喫緊の状況にあるとは言いがたいが、同一人口規模の自治体と比べて財政規模が小さいことを考えると、議員定数削減を取り上げることが理解できる。定数を削減することが不適切であるという強い理由はないが、議員定数を削減する明確な必要性が十分に示されていない。

みどり市の実情、将来について理解し、責任ある

立場の議員の判断が尊重されてしかるべきだが、定数削減の目的と対応についての整合性があるのか、またその整合性について市民への説明や、理解を求める努力が重要ではないか。

・住民に開かれた議会というところが喫緊の課題であり、コストの面で議員を削減するのは議会改革の本筋ではない。議員定数は現状維持がよい。

### ●調査の経過

議員定数については、平成27年の本委員会設置当初より「議会構成等検討部会」で調査、研究を重ねてきた。まず、全国と同規模自治体の議員定数について調査した。現在のみどり市の人口と平成52年の推計人口を踏まえ、人口4万1000人から5万2000人までの市を抽出すると、該当する市は全国で98市あり、議員定数の平均は19人だった。また、市の面積が近い同規模自治体や、人口規模に近い県内他市の状況につい

て、予算規模や市の職員数も加えて調査した。人口割、面積割の観点からは、みどり市の議員定数は同規模自治体の平均値に近い数字だったが、予算規模や職員数は他市と比べると低い水準にあり、定数削減の検討が必要であるという意見が多数あった。

平成27年12月には、議員のアンケートを行った。みどり市議会として適当と考える定数について回答を求め、その結果、回答にあった定数の平均は18だった。現状維持とすべきと回答したのは4人で、議員数を削減すると市民の意見が市政に反映されにくくなるという意見や、監視能力の低下、新人が参入しにくくなるといった意見があった。

定数を削減すべきとした回答は14人で、過半数を超え、そのうち定数18と回答したのは9人。理由として、社会情勢や経済情勢、市民の声、議員の立候補者が少ないことなどが挙げられた。これらの調査や各議員の



研究をもとに協議を重ね、本会議での採決を考えた場合、議長を除いた議員数が奇数であるほうが議会運営の面からも好ましいため、18人として委員会での意見をまとめた。ただし、定数削減により議会の停滞を招かないよう、議員一人ひとりの資質、能力の向上に努めなければならぬ。みどり市の将来を真摯に考え、市民の声を反映できる開かれた議会を目指し、議会活動に取り組むことが重要だ。

# 市政を問う

## 一般質問

### Q 人事管理については

### A 次世代を担う人材育成を行いたい

椎名 祐司 議員



問 危機管理監が相次いで退職し、危機管理課長補佐も休職中となっている。こうした現状についての考えは。

市長 平成29年度は機動性を高めるため総務部から独立し7名体制で業務を行っている。危機管理業務の責任者が年度の途中に退職することは市にとっても痛手であり、危機管理体制がこのような事態になったことは深くお詫びしたい。

問 11月1日付人事異動に

より、総務部長が危機管理監事務取扱、総務課長が危機管理課長として兼務することとなった。危機管理課における人事管理についての考えは。

副市長 突然の退職で困惑している状況である。次長職の職員が定年退職前に退職してしまう現状は市の損失であり、行政の推進に大きな支障を招くことから、職員の意識改革と能力向上に努め、次世代を担う人材育成を行っていきたい。

問 東町路線バスの車内アナウンスの音声導入と車両ラッピングは、みどり市の観光大使を起用している。導入に対する費用は。

総務部長 新車両本体の購入価格1912万円、車両アナウンスは録音システム

を含んで166万円、車両ラッピングは撮影、施工費92万円、全体では2170万円の費用となる。

問 低速電動バスが導入されたが、運行実績は。

産業観光部長 11月1日に出発式とお披露目を行い、

12日から運行を開始した。運行日数は4日間で99名が乗車した。

問 周遊コース内のアナウンス導入や車両ラッピングについての検討は。

産業観光部長 観光ガイドの会により、周遊コースに合わせたアナウンスが行われた。今後は、バスの愛称と合わせて公募などによりラッピングの図案を募っていききたい。

問 今後の運行計画は。

産業観光部長 12月から3月中旬までは、保育園や幼稚園に向いて低速電動バ

スに親しんでもらう機会を設けたい。平成30年度はイベント開催時の運行を計画している。



### Q 定住人口の確保は喫緊の課題

### A 人口の確保は急務である

古田島 和茂 議員



問 みどり市各町の人口推移は。

総務部長 笠懸町では昭和45年には1万人程度だったが平成29年では3万21

人、大間々町では昭和60年をピークに緩やかな減少傾向にあり、現在1万9371人、東町ではピーク時が8000人だったが、現在2097人と激減した。

問 各町の人口バランスを

見ると、持続性ということでは支障があると思われるが、対策はあるのか。

総務部長 各町での施策を実施する上での考察として、みどり市人口ビジョンを策定した。笠懸町では子育て世代をターゲットに転入の促進、大間々町では壮年層をターゲットに定住促



新井 みゆき 議員

## Q 市長として特に力を入れた施策は A 一体感の醸成と、持続可能な市をつくるために取り組んだ

進、東町では高齢者が住み続けられる環境を整え、他地域と連携し、持続可能な地域づくりが求められ、総合戦略の中期計画として定住促進に向けていく。

**問** 人口減少が進む東町では、学校の存続、防災に関わる消防団員の確保、地域コミュニティの維持も困難となる。定住人口の確保は喫緊の課題であるが。

**教育部長** 児童、生徒の確保という観点では、英語特例校に加え、教育課程特例校で特長ある小中一貫校を検討し確保にきたい。

**総務部長** 転入人口の確保ということでも、消防団員

の確保は喫緊の課題と認識し、OB消防団など、具体的役割を検討していく。

**東支所長** 地域コミュニティを維持する壮年層の減少が著しいと認識する。東町の住民負担も多く、人口確保は急務である。

**問** 東町人口確保という観点では、有利な国の施策である地域おこし協力隊の活用をさらに推進すべきでは。

**東支所長** 現在3人の隊員がおり、任期後定住の兆しが出てきた。地域外からの転入を推進する意味でも平成31年以後は課題を探り、新規採用にきたい。

**問** 定住促進条例の考えは。

**問** 職員の健康管理や職場の環境づくりの必要性について訴えてきた。管理職の退職や休職、降任が続いている。この現状についてどう考えているか。

**総務部長** 事務的な仕事をしてきた職員が管理職にな

ったとき、心の変化があることは間違いない。年度初めに出した方針が実行できなくなり課題が山積し、心の負担になっている傾向がある。職員の質を上げる手立てが必要である。

**市長** 今の状況が行政サー



**総務部長** 総合戦略の中で人口流出とならぬよう環境整備を優先している。定住促進は重要計画としている。時期は明言できないが、検討するときは来るので理解いただきたい。

ビスの低下につながってはならない。自らの心の管理に努め職責を全うできるよう意識改革に努めてほしい。

**問** メンタルヘルス疾患で職員が早期退職や休職してしまう。結果、行政サービス低下につながる。外的要因は除き、心身ともに健康であるための対策は。

**総務部長** 早期の打開策は難しい。しかし、横断的に情報共有を可能にし、やる気を起こさせるために提案制度などを取り入れ、職場環境の改善を図りたい。

**市長** 仕事上で、こうしたら円滑になるのか、市民のためになるのかを判断しながら対応している。個人の力でどうにもならないことも組織で対応すれば解決できることもある。それには日頃の意思疎通が大切であり、そのあり方を現場で徹底していきたい。

**新井** 多様化、複雑化する地方行政の需要に対応する能力を備えた人材育成と職員の能力と意欲が活用できる人事管理をしてほしい。

**問** 3期12年、市長として



特に力を入れた施策は。

**市長** 個々の施策は多岐に渡るので、どんな思いで市政運営をしてきたのか答弁したい。2町1村が合併し群馬県で12番目の市として誕生した。当時は笠懸町、大間々町、東村が一つのまちとして一体感を持っていなかった。縁があり、みどり市が誕生したので、一体感の醸成と、持続可能な市をつくるために取り組んできた。

**問** 次の市長にみどり市の未来をどう継承していくのか。

**市長** 後任の方には、まさらかな状況で渡していきたい。

## Q 公用車にAEDを

## A まずは福祉や危機管理で

高草木 良江 議員



**問** 普通救命講習を受講している職員が乗る公用車にAEDを積載し、迅速に救命措置を行える体制づくりをしている自治体もある。公用車にAEDを積載しては。

**総務部長** みどり市では、AEDの適正な管理ができる状況となった。次のステップとして、公用車などにAEDの配備は十分可能な対応ができる。まずは福祉や危機管理でできることの検討は十分していける。  
**問** 予防医療の拡充で重症化を防ぎ、医療費や治療費を抑える施策も重要。おたふくかぜやロタウイルスの

予防接種への公費助成事業導入の見解は。

**保健福祉部長** 必要性はある。現在、どちらも県内12市中4市で助成をしている。国、県や他市町村の動向を見ながら今後研究していきたい。

**問** 現在、花桃の種から育てて苗木の植樹を展開しているが、リキュールなどを特産物として開発しては。

**産業観光部長** 東町大畑地区の花桃まつりは、平成27年度から開催している。1万人を超える方々に来場してもらえるイベントとなった。これまでは花の育成に力を入れてきたが、果実の活用も今後実行委員会や地元住民と意見交換の中で取り上げて研究していきたい。  
**問** 文部科学省は部活動指導員を制度化したが、みどり市として導入への見解は。  
**教育長** 群馬県の教育委員会も来年度導入に向けて、

規則などを整えている。この制度は国、県が3分の1ずつの負担という、財政的にも有利で部活動指導の改善ができ、みどり市としても早急に導入できるように積極的に研究し、整備していきたい。

**問** 上神梅駅北側奥の神梅第2団地の駐車場は遠く、

入居者の高齢化などで、ほとんど利用されていない状況になっている。団地周辺に移設整備できないか。  
**都市建設部長** 神梅第2団地の入居の需要や神梅団地の空き地を駐車場として活用できるか、調査研究していきたい。



## Q お助け窓口の設置は

## A 相談内容がストレスなく進むよう検討

宮崎 武 議員



**問** 地球温暖化、原油価格高騰、廃棄物処理対策などに貢献する木質ペレット製造を担う、わたらせ森林組

合の現状は。

**産業観光部長** 国、県、市の補助金を受け、1997年4月1日開設、組合員744名、資本金約5000万円、森林整備事業を行い平成27年木質ペレット製造設備を増設、年間600トン生産を目指し運営。現在の年間製造量は約420トン。  
**問** 現状で需要供給のバラ

ンスはどうか。

**産業観光部長** 約420トン生産し、約410トン供給し良いバランスだ。  
**問** 現状では、ストローやハウス用ポイラーなどの需要拡大ができない。600トンの目標値に近づける対策は。  
**産業観光部長** 現状の職員体制および設備では難しい。再検討で製造量600

※ロタウイルス…下痢や嘔吐などを引き起こす病原体のこと。



田部井多市 議員

## Q 相次ぐ危機管理監の退職について

### A 自分で考え部下に指示を

トんに近づきたい。  
**宮崎** さらに需要増が見込まれる木質ペレット事業だ。当初目標に向けてさらなる努力をしてほしい。  
**問** 報道などでインフルエ  
 ンザワクチン不足が問題視  
 されている。現状は。  
**保健福祉部長** みどり市国民保険診療所では、現在残り180名分だが予約でいっぱい  
 の現状だ。  
**問** 何故、このような状況で対策を打たなかったのか。  
**保健福祉部長** ワクチン不足は、株が育たなかったことが原因。情報不足で通年並みの購入しかなかった。

**問** 接種は11月、12月が有効、高齢者や接種希望者など不安を抱いている。現状を広報みどりやLINEなどを利用し市民周知を図るとともに、ワクチン確保に努力を。  
**保健福祉部長** 早期に対応したい。  
**問** 縦割り行政のため、1人が様々な相談事を抱えている場合、各窓口のたらい回しであつてはいけない。  
**総務部長** 迷惑をかけている状況がある。善処



したい。  
**問** 解決策として、行政経験豊富な担当者が、相談者に解決まで寄り添うようなお助け窓口の設置ができたか。  
**総務部長** ヒントをいただいた。退職者も含め相談内容が最後までストレスなく進むよう検討したい。

**問** みどり市では危機管理監2名が続いて突然途中退職し、他に危機管理課の課長補佐が病気休暇中と聞いているが、このような状況をどう考えているか。  
**総務部長** このような事態を招いたことは反省の余地

がある。退職理由は、ごく一般的な理由。今回の退職は一週間前に突如届出され、年度途中での危機管理監の不在は誠に遺憾である。業務として特殊性があることから、平成27年度より危機管理部門を独立した。他の

部局と比較して特段業務が多いわけではない。しかしながら2年続けて危機管理監の途中退職で、業務の進捗よく状況を確認したところ、残念ながら業務が停滞していた。至急対応策を取り、市民に影響のないようにしたい。

**副市長** 着実に遂行していくのが本来の業務だが、あまりにも仕事が多すぎたてしまい、悩んでしまったと思う。緊急性の高いところから優先してやるように指示した。今後、研修を重ね職員育成に努力していきたい。

**市長** 相次ぐ危機管理監の途中退職は誠に遺憾であり、市民に迷惑をかけたことは重ね重ねお詫びする。危機管理監の使命は市民の生命、財産を守ること。様々な角度から職員の研修をし、また職員の心のケアも行いながら市民に貢献できるように職員を育てていきたい。

**問** 地元新聞での相次ぐ危機管理監の退職という記事の中でのコメントとして、

事務能力やマネジメントにギャップがあったとあるが、市民に平易に説明願いたい。  
**総務部長** 机上の事務ではなく、自分で考え部下に指示を出していく立場を自覚してほしい。



## Q 市の将来像実現に向けて努力すべきことは

## A まちの元気を絶やさないことが重要

武井 俊一 議員



問 第1次みどり市総合計画の検証はどのように。

総務部長 各施策や基本事業で設定している、成果指標の実績値で検証を行った。成果指標は、第1次計画の後期基本計画から取り入れ、取り組みがどのくらいの成果をあげているか、数値で把握できることになったことで、計画全体の進捗よく状況も数値で検証することが可能となった。

問 第2次みどり市総合計画策定で、みどり市を取り巻く環境変化をどのように捉えているか。

総務部長 東日本大震災以降、住宅や公共施設などの

耐震化が進んでいるほか、水道などのライフラインの重要性が再認識され、市民の防災意識も高まった。また、人口減少、少子高齢化が顕在化した。特にみどり市を含めた地方部では、都市部への人口流出も重なり総合戦略を中心とした人口減少対策が急務だ。

問 第2次みどり市総合計画策定にあたり、総合計画審議委員会委員からの意見などは。

総務部長 公共交通が利用しにくい、目指そう値の目標が低いのではなどの意見を重く受け止め、今後の取り組みの中で生かしていく。

問 第2次みどり市総合計画が示す、市の将来像は、また、その実現に向けて努力すべきことは。

市長 輝くひと輝くみどり豊かな生活創造都市を現行計画から継承する。この将来像の実現には、まちの元

気を絶やさないことが重要、途切れることなくまちの発展に向けた取り組みを積み重ねることで、基盤のしつかりとした魅力的なまちづくりが出来ると考えている。

問 ゴミ処理など生活基盤

## Q 3月までに履行しない場合は

## A 道路法に基づき、対処していきたい

深澤 輝彦 議員



問 今、物件が通行の妨げになっていないが、近い将来妨げになる恐れがある場合、その所有者が判明しているとき、法令上の根拠を示してほしい。

施設の将来への対応は。  
副市長 第2次みどり市総合計画策定において現行の桐生市との共同事業の枠組みの中で継続して取り組んでいく。各施設とも新たな施設整備ではなく、現在の施設設備の延命化長寿命化に重点をおき取り組んでいく。



都市建設部長 道路法41条の規定は、行政指導として、所有者に改善するよう口頭または文書で依頼する。改善が見られない場合、道路法71条による命令を行い、更に改善が見られない場合、強制的な措置を実施することができ。しかし、市は勧告を行いつつ、保安上必要な措置は民法717条の土地、工作物などの所有者の責任において行うべきと考える。

問 民法上の妨害予防請求権を使えると思うが。

都市建設部長 弁護士に相談して適切に対処したい。

問 平成29年5月に相談している案件だが、ここは多くの市民も危険と言っている箇所、通学路でもあり、教育委員会経由で話が建設課に行っているとも聞いている。市民からの苦情は来っていないか。

都市建設部長 個人所有の塀が倒れそうなのだが、何

とかならないか、という相談は来ている。

**問** 一押しすれば倒れそうな塀であり、先ほどの答弁にあったような対処はしているのか。

**都市建設部長** 定期的に建設課と建築指導課が状況を把握して、行政指導を行っている。

**問** 命令までのタイムリミットは。  
**都市建設部長** 来春までには改善するという話を所有者から聞いている。

**問** 3月まで待つ理由はなのではないか。

**都市建設部長** 本人の仕事が忙しく、少しずつの対応となっている。

**問** 約束の3月までに履行しない場合は、どう対処するのか。

**都市建設部長** 本人が約束をしているので、状況を注視していくが、道路法に基づき対処していきたい。



## Q 笠懸町第4区の雨水対策は

## A 対策を練っている

伊藤 正雄 議員



**問** 職員の病気休暇取得状況は。

**総務部長** 3年間の報告として、平成27年度10人、平

成28年度8人、平成29年度7人。

**問** 早期退職者数は。  
**総務部長** 平成27年度3人、平成28年度2人、平成29年度2人。

**問** 管理職への任用希望調査は。

**総務部長** 3年に一度、異動希望調査を行っており、その調査項目の一つ。管理職になりたくない38・3%、

男性27・6%、女性57・7%。課題は管理職になり

たくない理由で、能力に自信がない70・4%。責任の重い職に就きたくない22・6%。組織力低下になることを懸念している。

**問** 市になって業務の多忙化状況については。

**総務部長** 市町村合併時、人件費削減が掲げられ、18年度434人から25年度に

は396人で38人減を達した。しかし、県から移管された事務量は38件となり職員への事務量は多忙化している。

**問** 一般質問初日は、3人の議員が危機管理監の退職、また、相次ぐ課長の病気休暇と降格願いを確認している。報道により市民も心配しており、異常事態とみるべき。何よりも再発防止に取り組むべきでは。  
**副市長** 職員がやる気を起こす提案制度、ストレスチェック、高ストレス者には医師の面談、研修会、休暇の促進、資格取得の助成制度などを実施している。どの職場でも起こることから行政に支障が生じないように取り組んでいく。

**問** 笠懸町第4区の雨水対策について、旧国道50号からJR両毛線にかけては密集した住宅街になっている。降雨時には岡登用水や流末が阿左美沼へ流れる側溝が溢れ、農地へ雨水が流入し沼のようになっていく。計画はどうなっているのか。



**都市建設部長** 笠懸町第4区道土地域になるが、雨水がのみ込めず農地に流れ込み、苦情が出ている。現在、対策を練っている。

**問** 流末側溝拡幅と同時に、特に市道笠懸2251号線、市道笠懸2254号線、市道笠懸2255号線、市道笠懸2155号の新設側溝整備が必要だ。  
**都市建設部長** その部分も含めて対応したい。

# Q 平成28年6月の市長答弁の取り消しの理由は

# A あまり適切ではないので削除しただけのこと

海老根 篤議員



問 1、市長の発言に関する質問について(1)市議会

会における市長の発言について ア)平成28年6月頃の議会における18歳選挙権取得法施行後、初の国政選挙に係る発言取り消しの理由は。

市長 自分の子供とはいえ、一つの人格のある子供を例に出して話をするというのはあまり適切ではないだろうということ、その部分を削除しただけであり、特にそれ以上の理由はない。

問 (2)議会外での市長の発言についてア)桐生市との合併に関する調査や研

究や協議とやらで、みどり市の相当数の職員や議員らが費やした膨大な時間や労力の無駄遣いに対する市長の責任は有るかないか。

市長 思い込みや前提に対しての質問については、特に答えるつもりはないし、特に無駄があったと感じていない。

問 イ)事務の指定管理などの業務の委託などと称してみどり市の消防体制が大間々新里分署、黒保根・東分署などの旧態依然としており一向に一体化されないまま放置してきたことについての考えは。

総務部長 消防署、消防分署の設置については、桐生市警防規程第7条に基づく警防担当区域に設置をされている。

問 ウ)東部水道事業団に加入した直後に発生、問題が顕著化した水道給水管新設時の料金の負担加重につ

いては、事前に十分審議されたか。

# Q 法定雇用率が引き上げられるが、その施策は積極的に障がい者雇用を進めていく

今泉 健司議員



問 みどり市ブランド認定商品を全て取り扱う店舗は市内に何店か。また、そのような店舗の拡大を図る計画は。

産業観光部長 複数の商品

都市建設部長 統合に向けては関係団体などで協議をされたと認識している。

問 エ)平成29年10月31日付桐生タイムス紙の厚生病院負担金問題決着ならずについてはどうか。

都市建設部長 市民に対し

保健福祉部長 平成29年度

をとり扱う店舗は3店舗あるが、全商品を取り扱う店舗はない。新たにブランド商品を購入できる店舗を開拓したい。

問 障がい者雇用の現状は。

問 みどり市ブランド認定商品の今後の展開は。

保健福祉部長 現在、雇用している人数は13名で、障がい者雇用率の制度上の必要雇用数を満たしている。

産業観光部長 ブランド認定事業者を巻き込んだPR活動を実施したい。

問 障がい者雇用の現状は。

保健福祉部長 積極的に障がい者雇用を進めていく。

問 平成28年度の障がい者施設などからの物品調達目

問 現状の正職員数と臨時



杉山 英行 議員

## Q 正職員の適正配置は A 計画的に増員できればと考えている

標と実績は。保健福祉部長 調達目標は40万円。実績は、関係団体も含めれば目標値を上回っている。

問 発達障害の早期発見対策は。

保健福祉部長 みどりっこ相談会アンケートを主に実施している。

問 5歳児以降の発達障害の子どもへの施策の充実。

保健福祉部長 保健センターでの相談の周知や、子育て応援ノートを活用し、就学後も支援を継続していく。

職員などの人数および時間外勤務の実態は。

総務部長 条例の定数は445人、平成29年度、正職員406人で再任用5人を含む、嘱託員97人、臨時職員227人。平成18年度は、正職員数434人、平成29年度は406人で28人の減

問 今後の笠懸町商工祭の展望は。

副市長 一定の成果があったと評価している。みどり市全体に拡充したい。

問 平成29年度の企業訪問の計画と実績は。

産業観光部長 年間1000件を目標に、35件の企業訪問を行った。

問 キャリアアドリーム事業の展開を図っては。

教育長 生徒が、地元で特色のある企業などを知ることとは郷土愛を育てることもつながる。そのため、関係部署とも連携し、社会に開かれた教育課程、地域と



共に歩む学校が求められていることから研究したい。

少。時間外勤務手当は、月当たり1人平均7時間程度で総額5千万円。課別では、平成28年度、上位は税務課、観光課、総務課で、税務課は2642時間、1人平均15・7時間、観光課は1295時間で、1人平均15時間、総務課は1697時間

で、1人平均12・9時間。時間外勤務が増加しないように対策を進める。

問 正職員が少ない中で、時間外勤務も少ない状況は、どう捉えているのか。

総務部長 人件費削減と事務効率を進めても、業務量は増大している。1人月30時間を超える場合は、課長に理由書を提出するが、月29時間で止まっている実態もある。現実と実態の差があるのは認識している。

問 正職員が少ない要因と臨時職員を雇用する必要性は。

総務部長 臨時職員は職員の事務補助であり、正職員を増やす解釈で、総体的な人件費を意識して見直す時期にきている。

問 正職員の適正配置は。

総務部長 計画的に増員できればと考えている。

副市長 精査して決める必要がある。

問 岩宿遺跡の保全管理の状況は。

教育部長 民家周辺の除草作業、倒木の伐採、枝下ろしなどの作業である。追加

指定を受けた場所があり、総合的な基本構想を策定予定。



問 周辺宅地への影響は。

教育部長 今は、市の判断で支障木の伐採は可能であり、住宅地へ雨水が流入するのを防ぐための対策を講じる要望は確認している。

問 保全対策は。

教育部長 教育部と関係部署と今後検討する。

杉山 平成29年度中に結論を求める。

※キャリアアドリーム事業…みどり市内全中学校の2年時を対象に行っている職場体験活動を中心としたキャリア教育。

# Q 税金の無駄遣いでは

## A もつたいたないので、工夫する

荻野 忠議員



**問** 都市計画道路は、みどり市の発展など考慮すると重要な道路計画だが、進んでいない。進ちよく状況は。  
**都市建設部長** 都市計画決定道路は、笠懸町5、大間々町8の13路線ある。完了1、一部着手と着工中5、未着手7路線。  
**問** 道路整備の遅延の筆頭格は、大間々町の寅久保バイパスでは。現在の道路は地域住民にとって不便で危険な生活道路だ。小平の里や浅原体験村にしても、寅久保バイパスが完成しない影響は大きい。  
**都市建設部長** やつと着工したが、今後の計画では大

規模な斜面への擁壁や橋の建設など難工事がある。完成日は未定だが、早期完成に向け群馬県へ要望している。  
**問** 市民や区長などから出される陳情要望道路の多くが次年度へ繰り越されているが。  
**都市建設部長** 陳情要望は、平成26年度21件、平成27年度12件、平成28年度10件あった。5年間の完成率は46・67%だ。  
**問** 陳情要望提出者に、着手が遅れている説明は。説明責任を果たすことが、市民サービスの原点では。  
**都市建設部長** 着手していない道路への説明はしていないが、今後は陳情要望提出者に説明をしていく。  
**問** 朝晩の渋滞がひどい箇所があるが、右折ラインや隅切り拡幅、そしてバイパスなどの検討は。  
**都市建設部長** 交通量調査

や市道整備計画を立てて、渋滞解消策も考えたい。  
**問** 低速電動バスだが、観光シーズンオフもあり、現在の運営方法では、税金の無駄使いでは。  
**副市長** 運賃は無料で観光の誘客につながればと思いい購入した。観光シーズンだ

けでもつたいたないので、工夫する。

**問** 土日曜に使われていない通学バスなどがある。所管が違うから使えないという時代は終わった。猫バスのように装飾して、子どもが喜ぶようにしたり、観光客用に使うなどの議論はなかったのか。  
**産業観光部長** さまざまな制約があり難しいと思う。



# Q 女性消防団設立は

## A 2団体が同等の機能を果たしている

須藤 日米代 議員



**問** 現在の消防団員数と充足率は。  
**総務部長** 平成29年11月1日時点で団員数253人、充足率は82・6%。

**問** 消防団入団条件は。  
**総務部長** 年齢18歳以上、市内在住または在勤で、身体健全な方。  
**問** 消防団員の活動内容、火災出動などの日数は。  
**総務部長** 辞令交付式、秋季点検、防火パレード、歳末夜警、出初式が大きな行事。火災件数イコール出動ではないが、平成28年は12件、平成29年は10月末現在15件。

**問** 定数確保が困難な場合、団員の定数削減の検討は。  
**総務部長** 現在の条例定数は306人。地域防災力に大きな影響が出るという認識から、当面はこの定数でいくべきと考える。  
**問** 平成29年10月1日より、群馬県が、ぐんま消防団応援の店募集制度を開始したが。  
**総務部長** 現在、5店舗が

問 近年、AEDの認知度



須永 信雄 議員

## Q AEDが有効な理由は A 正常な心拍に戻すこと

登録している。団員証を提示すれば優遇サービスを受けられる。今後、団員に周知する。

問 みどり市に機能別消防団はあるのか。

総務部長 現状ではない。

問 OB消防団の設立は。

総務部長 消防団に対して地域が何を求めているのかを具体的にしつつ、早急に答えを出す必要がある。

問 女性消防団設立は。

総務部長 現在、みどり市においては婦人防火クラブ、婦人防火協力班の2団体が女性消防団と同等の機能を果たしている。現状を

は上がり、心肺蘇生と一体となつて人の命を守ることに使われている。みどり市では、市所有のAEDを管理しているのが保健福祉部だと理解している。AEDが心肺蘇生に有効な理由は何か再確認したい。

保健福祉部長 AEDの有

維持継続し、さらなる充実を図ることが先決と考える。

問 安心支援事業のサポート、利用者が登録している状況は。

保健福祉部長 サポーター39人、利用者44人。

問 サポーターの人数は充足しているのか。

保健福祉部長 充足している。

問 モデル地区以外の利用者登録は可能か。

保健福祉部長 モデル地区になることが一番である。区長からの申し出があればモデル地区になり、利用が

効性については、脈のない場合に、最も多いのが心室細動を原因とした心臓の痙攣とされている。これにより心臓は血液を送れない状態になる。AEDは心臓に電気ショックを与え、この心室細動を取り除き正常な心拍に戻すことに有効だと



できる。

問 東町のモデル地区への申請は。

副市長 もう1年、モデル地区を周知し、全地域で事業が可能になるよう努力する。

されている。

問 救命の連鎖という言葉があるが、どのような意味合いがあるのか。

保健福祉部長 急変した傷病者を社会復帰させるために必要となる一連の取り組みだ。救命の連鎖には4つの輪があり、素早くつながると救命の可能性が上がる。1つ目の輪は心停止の予防、2つ目の輪は早期認識と通報、3つ目の輪は一次救命処置、4つ目の輪は二次救命処置と心拍再開後の集中治療になる。

問 各行政区によって夏祭りやレクリエーション大会に看護師を要請しているが、AEDを用意できない。地区公民館にもAEDが必要だと思うが。

保健福祉部長 地区イベントについては、貸し出し用を2台用意しているので、これを使用していきたい。

問 まずは公民館に配備し、コンビニエンスストアや介護施設などと協

定を結び常設する。最終的には個人宅や隣組でAEDを所有することで、より救命効果が上がると考える。配備の裾野を広げる必要があると思うが。

市長 高齢者で一人暮らしの方を考えると、最終的には一家に1台あれば安心につながる。自宅での配備も必要だが現在のAEDは高価であり、そこに税金を投入することは一考を要する。現在でもポータブルの使い捨てAEDがあり、電池とセットで3万円ほどと記憶している。こうした技術は日進月歩で進んでいるため、もう少し技術の進歩を見たい。



※モデル地区(H30.2.5現在)…笠懸町第2、4、7、9区、大間々町第2、3、4、11、12、16区、東町全域

# Q リサイクル率の低迷は

## A 研究に取り組む

上岡 克己 議員



問 市が収集したゴミなどのうち、資源化したり、再利用した割合を示すリサイクル率が、県下35市町村の中で、過去5年間は下位に低迷している。平成27年度では、ワースト2位である。この数字について、どのように考えるか。

市民部長 リサイクル率を上げることは、本市の環境基本計画で掲げた生活環境の健やかで、安心して暮らせるまちに貢献する数値となり、群馬県平均や、それ以上の率となるよう研究に取り組んでいく。

問 群馬県では、不要になったものを全てゴミとして

いた意識を、循環資源として再び生かそうとする意識に変革し、捨てればゴミ、生かせば資源を実践していく行動がゴミの減量化につながると思うが。

市民部長 ゴミに対する意識改革には、なぜゴミを減らさなくてはいけないのか、ゴミをリサイクルして何に役立つのかなど、ゴミの減量、資源化の目的、取り組みを官民一体で共有していくことが重要であると考えている。ゴミ処理には、多額の費用がかかっていること、一人ひとりが分別を意識し、出すゴミの量を減らせば、ゴミの収集、運搬や焼却に係る経費が抑制、削減されることなどを、市民にわかりやすく情報発信し、ゴミに対する意識を変えていくことが行政の役割であると認識している。

問 集団回収は、リサイクルに伴う税金の削減、住民

による分別指導により、世間の交流が生まれ、資源物の品質、環境意識の向上のメリットがあると思うが、取り組みをどう考えているか。

市民部長 市では、交付要綱に基づき、認定団体に奨

励金を交付し、取り組みを支援している。廃棄物の再生利用が図られ、結果的にはゴミの減量化につながり、意識共有が生まれ、子どもたちにとって集団回収の取り組みを通して、リサイクルや広く環境について考える動機付けになっている。



# Q 平成28年度負担金問題の経緯は A 最終的な合意の方向性を出す考えだ

常見 詔子 議員



問 平成29年10月31日付の新聞紙上に、桐生地域医療組合議会、負担金問題決着ならずとあるが、平成28年度負担金問題の経緯は。

保健福祉部長 桐生厚生総

合病院の負担金の経緯は、平成28年2月から平成29年10月までの間に担当部署で合計15回の協議や担当部長、課長の話し合いも複数回し、最終的な合意の方向性を出す考えだ。

問 平成27年12月に、桐生市から交付税の算定方法の変更について提案されたようだが、今までとどう違うのか。

保健福祉部長 これまでの交付税の算定方法は全国自

治体病院開設者協議会が示す計算方式で、桐生市が提案した計算方法は、基準財政需要額を用いて交付税を算定するという考え方だ。

問 桐生厚生総合病院に比べては、どちらの計算方式が好ましいのか。

保健福祉部長 桐生厚生総合病院にとっては、負担金の全体額には全く変更がない。

問 群馬県の市町村課の職員立ち会いのもとでの協議



## Q カタクリの湯施設整備は A 早期着手を目指し事務を進める

大澤 映男 議員

問 防犯灯の設置基準は、  
総務部長 基準は複数ある  
が、早期に対応したい。

問 高齢者自動車運転免許  
証自主返納への優遇措置は。  
総務部長 市民が1回で助  
成を受けられるように平成  
30年度から実行できる状況  
を作りたい。運転経歴証明  
書の無料化、証明助成と返  
納した後の移動手段として  
電話でバスの回数券を配布  
し、活用してもらいたい。  
問 カタクリの湯施設整備

は。  
保健福祉部長 カタクリの  
湯の施設整備方針会議にお  
いて、意見書では源泉地に  
より近い場所へ移転新築す  
るといふ基本方針が示され  
ている。公共施設などの全  
体状況を把握し、方向づけ  
がなされた段階で基本構想  
への着手など本格的な施設  
整備への動きができるかと考

える。早期着手を目指し、  
事務を進めていきたい。  
問 カタクリの湯の利用状  
況は。  
保健福祉部長 過去3年間  
の統計で、5月から10月の  
夏季は1日平均410人。  
11月から4月の冬季は45  
0人。冬季は開館時間が1  
時間短いにも関わらず平均  
で40人多い状況だ。混雑解  
消の対策として、冬季開館  
時間の1時間延長が有効で  
あると考える。さまざまな  
面も考慮し、条例改正も含  
め検討したい。  
問 次期市長にまだ手を  
挙げる人がいないが。  
市長 12年前はすでに選挙  
戦を始めていたが、出たい  
人がいるなら手を挙げてく  
る時期。今後、素晴らしい  
人が出て来ると期待してい  
る。  
問 多くの市民が再出馬を  
願っているが、思い直す気  
はないのか。  
市長 いろいろな公約の中  
で任期だけは別物だと思っ  
ているし、ほごにするなら  
言うんじゃないという思い  
もある。私は今だもって初

の結果は。  
保健福祉部長 平成29年3  
月末に、群馬県の立ち会い  
のもと協議を行った。平成  
28年度の332万4000  
円については、両市が責任  
を持つて桐生厚生総合病院  
へ支払うこととし、平成29  
年度、平成30年度以降の支  
払額、支払い方法などにつ  
いては、平成29年10月末ま  
でに病院へ示すようにとの  
こととなった。  
問 新聞記事には、平成28  
年度の332万4000円  
は宙に浮いているが、平成

29年度については合意して  
いるとあるが、所属する市  
民福祉常任委員会では、負  
担金についての交付税の計  
算方法がどのように変更し  
たか、そして決定したのか、  
平成29年度についても合意  
したということ、何も聞  
いていないが。  
保健福祉部長 これから平  
成28年度、29年度、30年度  
の全体を合わせた中で、合  
意書が作成されるころだ。  
問 平成30年度の予算計上  
は仮の予算計上になるのか。  
保健福祉部長 合意のタイ



ミングとも関係するので、  
一概には言えない。



心を忘れていない。自分な  
りに一生懸命やってきた  
が、客観的に評価して頂け  
たら、いつも思っている。  
市長としてすべき仕事は無  
限にあり、その仕事を少し  
前進させたくらいが自分の  
評価と考える。公人たるも  
の意識が大事だという考え  
もあり、格好付けるなら最  
後までと思っている。前回  
も言ったが、痩せ我慢をし  
ている。格好も付けている  
が、この4月で線を引きた  
いと思っている。



大間々町 宮田 篤志

消防団員

私は、みどり市の消防団に入団しています。

きっかけは、自分が生まれ育った町に、何か役に立つことはできないかと考え、入団を決意しました。

入団して感じたことは、団員が皆、使命感を持って活動しているということですね。また、今の消防団の危機も見えてきました。それは「人員不足」です。昔は団員数がフルでいたのに対して、今は半数しかいません。このままでは、まともな活動ができなくなってしまうと思います。皆様の入団を心からお待ちしております。

最後になりますが、乾燥する時期ですので、火の取り扱いには十分ご注意ください。



笠懸町 松島 春夫

住みやすい笠懸町

私は、昭和9年生まれの83歳です。桐生市から笠懸村(当時)に越して早45年、生涯続けた洋服屋を引退して約20年になります。

当時の笠懸村は、夜は防犯灯も少なく、一人歩きは避けるような環境でした。反面、社会教育の進んだ伸びやかで本当に住みやすい環境であったことも痛感しています。

新田郡笠懸村から新田郡笠懸町に、そして現在のみどり市笠懸町へと時代は移りましたが、防犯灯もLED化がなされ、人口増のためさまざまな施策を行い、「子育てするならみどり市で」と言える環境を作ってくださいさるみどり市議会に、今後とも期待しています。

東町は山間地域のため、冬になると市道の除雪に大変苦労しています。降雪が少ないときは、地元業者も除雪をしないため、雪が車両などで踏み固められ滑りやすく、非常に危険な状態になります。



東町 齋藤 友司

思いやりのある行政運営を

東町は山間地域のため、冬になると市道の除雪に大変苦労しています。

降雪が少ないときは、地元業者も除雪をしないため、雪が車両などで踏み固められ滑りやすく、非常に危険な状態になります。

昨年も東支所へ相談に行きましたが、市道脇に設置してある融雪剤を近隣の住民が撒くことになっているので、なくなれば補充しておくとのことでした。

弱者や過疎地域の住民を見捨てる行政運営には驚くばかりです。過疎化が進む東町、このような行政運営では、過疎に拍車がかかるばかりです。過疎地の住民にもっと思いやりのある行政運営を望みます。

編集後記

平成29年第4回定例会は12月14日に閉会となりました。定例会最終日には、議員定数を現行の20から18とする定数削減の条例改正案が議員発議され、賛成多数で可決されました。条例改正により、次期改選から議員定数は18となります。定数削減にあたり、議会改革調査特別委員会「議会構成等検討部会」では、みどり市と同規模自治体の調査研究や、議会内アンケートの実施、市民意向調査を実施した先進地視察、さらには、みどり市民の意向を把握するための公聴会も開催するなど議会内での議論を十分重ねてきました。

指していくことだと思います。今後もさらなる議会改革を推進しながら、市民の皆さんに寄り添う議会を志高く行っていきたいと考えています。(椎名祐司)

次回定例会(予定)

2月21日(水)から 午前9:30～

皆さんの傍聴をお待ちしています。 問い合わせ ☎76-1970

編集委員

|      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 宮崎 武  |
| 副委員長 | 須永 信雄 |
| 委員   | 椎名 祐司 |
| 〃    | 大澤 映男 |
| 〃    | 武井 俊一 |
| 〃    | 新井みゆき |
| 〃    | 今泉 健司 |
| 〃    | 深澤 輝彦 |

○発行/みどり市議会 〒376-1019 群馬県みどり市大間々町大間々15-11 電話0277-77(76)1970 FAX0277-77(76)1952

○ホームページ/https://www.city.midoriquama.jp/arkai/ ○編集/みどり市議会広報特別委員会 ○印刷/㈱大間々印刷